

# GO! GO! よしひろ

Vol.22  
NOV.2010

りん!



埼玉県議会議員

## 鈴木よしひろ活動レポート

第22号

平成22年(2010)8月発行

〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347 TEL.048-948-2070 FAX.048-948-2071

ホームページ <http://www.misato-net.com/yosshi/> E-mail [yosshi@misato-net.com](mailto:yosshi@misato-net.com)

Think together  
Go together

### Opinion

#### 今、考えていること

## 参議院選挙が終わって…… 政治は何を議論すべきか？



埼玉県議会議員

# 鈴木よしひろ

去る7月11日、参議院選挙が行われました。民主、国民新の連立与党が非改選議席を含め参院の過半数(122議席)を割り込み、大敗。一方、自民党は、改選議席(38議席)を超えて51議席に伸ばし、改選第1党になりました。

菅首相は引き続き政権を担う意向を表明しましたが、困難な国会運営を強いられています。

しかし、参院選は自民党が勝ったわけではなく、小沢幹事長や鳩山首相をめぐる政治と金の問題、普天間問題などでブレ続けた政策、菅首相の唐突な消費税発言といった敵失にあることは明らかです。私はこの結果に気を緩めることのないよう、自民党、そして政治の改革のため、さらに声を上げ、努力を

していきたいと決意を新たにしています。

**政治は夢や希望を掲げ、それを實現する手法。では何を指すのか……。**

政治は、夢や希望を掲げなければいけません。そして政治とはそれを実現する手法であり、仕組みです。しかし、それは物質的なものだけでは駄目だと考えています。昨年来、国や地方でも「高速道路を無料化します」「子供手当を出します」「県立高校無償化します」という言葉が踊りましたが、これらバラマキと言われているものは、政策の手段であり、その先に、この政策によって、どういう国や社会にしたのかという説明責任が必要だと

考えます。

日本が1000兆円近い借金大国となつてしまった今、公務員の数を減らすという議論も出ています。ある調査では日本の公務員は国民千人当たり35.1人、人件費は、対国内総生産(GDP)6%ということですがこれがこの国にとって多いのか少ないのか?それを判断するには官と民の役割を議論することが必要です。またその文脈の中で、国、県、市町村の役割の分担も再検討が不可欠です。

**あるべき国の姿、  
社会の在り方を  
論じることが必要。**

先日、民主党が来年度予算編成にあたり「政策コンテスト」を行う

との発表がありました。概算要求基準で各省とも1割カットして浮いた部分を特別枠とし、公開の場で有識者や一般国民も参加して優先順位を付け、菅首相が最終判断するというものです。ここでも国のかたちや社会の在り方の議論無しに進めば、世論受けを狙った事業が並んでしまう懸念が感じられます。複雑に利害が絡み合う現代で、どこに問題があるかというところを一つつきちんと問いつつながら、政策を取捨選択し、結果責任を果たしていくのが政治家に科せられた責任です。その根本を忘れ、大衆迎合が過ぎると政治家の責任放棄につながります。こういった思いから、私は日々、政治や行政のあるべき姿を問い続けているのです。

Close Up!

# 鈴木よしひろの質問 その後を検証する！

## 平成21年9月一般質問 その後、1年たって…

鈴木よしひろ県議が昨年、9月定例会で、一般質問を行いました。その際、政権交代を踏まえての県政の基本姿勢、行政サービスにおける受益と負担の在り方、教育など7項目にわたり、質問・要望・提言を行いました。

1年近くが経過した現在、そのときの質問・答弁が県政で具体的にどのように取り扱われたのかを検証しました。本稿ではその抜粋を掲載しました。

### 政権交代と県政の進め方について要望

#### 質問

政権交代によって、県にとつて必要な公共事業が滞らないよう、知事に決意を問う。

鈴木県議…：政権が交代したからといって、本県が優先する公共事業が滞ってはならないと考えるが、知事の所見は？

求める。

今年4月16日に高速道路の新料金制度に対する申し入れでは、「真に必要な道路は国が責任をもつて整備すべきで、堂々と予算計上すべきである」と国土交通大臣に対して申し入れを行なう。

5月11日に知事と県選出の国会議員との意見交換会で、政府要望として首都圏の交通網の骨格をなす圏央道などの整備促進を要望。5月24日に国土交通省に対して、政府要望として首都圏の交通網の骨格をなす圏央道などの整備促進を要望した。

### 行政サービスの二翼を地域で担う制度を提言

#### 質問

三郷市の例を挙げ、行政サービスの肥大化で税負担が増大することの解決策の一つとして住民ボランティアの力を評価・提案

鈴木県議…：秩父市や三郷市でスタートした地元商工会や商店街と連携して、地域ボランティアにご協力いただいたら、そこに対価をお支払いする地域で支え合う制度が施行されました。このような制度を普及し、行政サービスの二翼を担っていただくような制度を県として確立する考えはありますか。

#### 答弁

知事も賛同、「地域支え合いの仕組み」として、3年間で30市町村に拡げることが約束。

#### 検証

支援制度制定後、平成22年5月で14市町に拡大。

「地域支え合いの仕組み」について平成21年度に支援する制度をつくり、平成22年5月現在、14市町で取り組んでいます。

県政に提案と提言。常に理想の政治を求める。





す。平成23年度までに30市町村で実施されるよう進めていきます。

※地域支え合いの仕組みとは元気な高齢者等が援助の必要な高齢者等の生活支援を行い、その謝礼を地域商品券や地域通貨として受け取る地域で支え合うなどの仕組み。高齢者等の日常生活の安心確保、元気な高齢者の介護予防により、地域経済の活性化が期待されます。県では、補助金などの支援制度を設け、県内各地に広がるよう支援を始めています。



その他の検証状況は新ホームページに近日、掲載予定です。

新ホームページ <http://www.yosshisuzuki.com>

**教育の機会拡大・質の向上につながる試案を提言**

**質問**

**県立高校奨学金の免除規定の創設を提言**

鈴木県議……通常、奨学金を受領した後、社会人になって返済していくわけでありますが、神奈川県では、県立高校奨学金の免除規定を設けて、既に実施されています。埼

玉県でも行っていたらいいのですが、いかがでしょうか。

**答弁**

知事も賛同し、返還の一部免除検討を約束。

**検証**

**平成22年度から返還金の一部免除が実現**

平成22年度当初予算において、平成21年度に卒業した生徒のうち、経済的要件、学習成績要件を前提として、スポーツ活動やボランティア活動等の実績が特に顕著な者5人を選考し、返還金の一部を免除することといたしました。

**質問**

**奨学金の免除規定に日々の善行を加え、善行青少年の励みに**

鈴木県議……三郷市で活動している「三郷鳩鳥ライオンズクラブ」は青少年に対して、「良い行い」を積極的に取り上げ、善行が報われる喜びが将来の糧になればとの願いから、善行賞として表彰事業を行っています。奨学金の

免除規定にこのような受賞者を対象者に加え、次に続く子供たちを二人でも多く増やしていくことが大切であると考えますが、いかがでしょうか。

**答弁**

評価要素に加えることが出来ないか検討をする

**検証**

**この程、善行の実績が奨学金一部返還免除の対象に加わる**

経済的要件、学習成績要件を前提として、ボランティア活動等の実績として以下のいずれかの場合に該当する者について、一部返還免除の選考対象とすることとなりました。

- 全国又は都道府県規模の団体からボランティア活動や善行について表彰を受けるなど、その活動内容が顕著な場合。
- 市町村規模以上の地域にかかわるボランティア活動団体等のリーダーとしての顕著な貢献がある場合。
- その他、ボランティア活動や善行について新聞等で報道されるなど、社会的貢献や影響が極めて大きなものと認められる場合。



知事に要望書を提出。



街頭演説で政治の今を語る。



道行く皆様に直接、思いを伝えて…。



REPORT

# 6月定例会のご報告

## 「一般会計の補正予算、62億1,131万1千円を可決。」 「雇用創出」「公共事業」関係の事業を進める。

6月定例会は、7月14日(水曜日)から8月4日(水曜日)まで22日間の会期で行われました。

6月の月例経済報告に、リーマンショック前の平成20年7月以来1年11か月ぶりに「回復」という表現が盛り込まれるなど、

景気は持ち直しの兆しを見えています。しかし、失業率が依然として高水準にあり、雇用情勢は厳しい状況が続いています。

こういったことから景気持ち直しの動きはまだまだ力強いものとは言えません。埼玉県では、リーマンショック以前の雇用水準に戻すため、官民連携により3年間で7万人の雇用創出



暮らしの安心安全対策特別委員会で県内を視察

を目指す「埼玉県雇用ニューデール」を推進しています。

そこで6月議会では雇用創出事業と投資効果の高い公共事業を中心に補正予算が編成され、審議を経て、可決されました。

今回の補正予算の主なものは以下のとおりです。

### 生活保護受給者の自立支援、介護事業所での正規雇用を目指す。

福祉事務所に職業訓練や住居、教育に関する支援員を派遣し、ケースワーカーと連携して生活保護受給者の自立を支

援してまいります。

また、介護資格を持たない方を介護事業所に雇用していただき、職場研修と資格取得の支援により正規雇用につなげてまいります。

これらをはじめとする37の県事業と市町村が実施する雇用創出事業への助成を追加することで雇用対策の強化が期待されています。



記念式典で喜びの挨拶



産業労働委員会で県外視察

### 地域振興の基盤となる投資効果の高い公共事業を推進。

圏央道をはじめとする大規模道路との連携強化など、地域振興の基盤となる投資効果の高い箇所を厳選し、道路や街路などの公共事業が追加されました。

この結果、一般会計の補正予算額は、62億1,131万1千円となり、既定予算との累計額は、1兆6,826億2,131万1千円となります。



シンガポール、マレーシア視察



#### 6月補正予算・主な内容

●緊急雇用創出基金を活用した雇用創出事業の追加	27億3,060万4千円
県実施事業	13億2,594万8千円
(生活保護受給者の自立支援)	4億1,580万7千円
(介護施設における実務研修を活用した人材確保)	2億9,737万4千円
(商店街のにぎわい創出の支援)	3,137万4千円
(植林箇所におけるシカ防護柵の巡回点検等)	3,981万7千円
(万引き被害抑止対策の推進)	1億5,068万9千円
など37事業	
市町村が行う雇用創出事業に対する助成	14億465万6千円
●地域活性化・公共投資臨時交付金を活用した公共事業の追加	27億6,700万円
●児童福祉施設入所児童等に対する支援	1億2,920万7千円

ご期待下さい!

新しいホームページを準備中。

鈴木よしひろ県議の動きをじっくり、そして時には素早く伝えます。より情報の多く、速報性の高いホームページを準備中です。9月頃の公開を予定していますので、今しばらくお待ち下さい。

新しいアドレスは下記です。

<http://www.yosshisuzuki.com>

埼玉県議会議員

# 鈴木よしひろ 47歳

連絡先 / 〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347

鈴木よしひろプロフィール

●昭和37年11月生 ●三郷市立吹上小～栄中学～日本大学第一高校～日本大学理工学部卒 ●参議院議員(故)土屋義彦秘書～平成11年、埼玉県議会議員初当選(現在3期) ●(社)越谷法人会青年部監事、市内小学校PTA顧問、県立三郷高校PTA・後援会顧問、三郷市スポーツ少年団顧問、三郷リトルシニアチーム会長、三郷市サッカー協会会長、三郷市囲碁将棋連盟顧問等

県政についてのご意見ご要望は右記へ

TEL.948-2070 FAX.948-2071

●E-mail [yosshi@misato-net.com](mailto:yosshi@misato-net.com)